

外国人留学生研究発表会

外国人留学生から見た日本。アジアの国との異文化間理解。

本学で学ぶ外国人留学生が、日本社会や文化について調査、研究を行なった結果を日本語で発表します。お気軽にご参加ください。

日時 **2024年12月23日(月)** 9:05~10:30(申込不要・入退室自由)
会場 **京都ノートルダム女子大学 ユージニア館 3階 NDホール**
発表者 「日本語表現Ⅱ」(高岸雅子講師) 履修の外国人留学生 計 10名

プログラム

【発表時間+質疑応答時間】 1組18分程度

1 うつ病の性差に関する意識

1

現代人間学部 心理学科1年次生 3名

うつ病における発症リスクには、性差があることが知られている。そして、うつ病の性差に対する認識不足は、うつ病の受診意欲とサポート受け入れに影響を及ぼす可能性がある。そこで私たちは、様々な国籍の人々を対象に、うつ病の性差に関する意識について調べたいと考え、アンケート調査を行うことにし、その結果を分析した。

2 日本で飲める水道水について

2

国際言語文化学部 国際日本文化学科 交換留学生

私の国のタイでは水道水は飲めないが、日本の水道水はそのまま飲めることを知って驚いた。それでも日本に来ると、私は日本の水道水を、たまにそのまま飲むようになった。そこで、日本在住の外国人留学生と日本人大学生を対象に、飲料水としての日本の水道水に対し、どのような意識を持っているかについて調査し、比較した。

3 浮気についての考え

3

現代人間学部 生活環境学科1年次生 2名
現代人間学部 心理学科1年次生 1名

恋人の浮気が発覚した場合、その後、恋人関係を続けるかどうかなどを二人で話し合うことは重要である。けれども、そもそも浮気か浮気でないかの判断基準はどこにあるのか、浮気をどのように定義したらよいのだろうか。日本人と外国人、さらに様々な年齢層の人々を対象に、浮気についての意識を問うアンケート調査を行った。

4 多様化する支払い方法が消費者行動に及ぼす影響 ~中国人と日本人を比較する

4

現代人間学部 生活環境学科1年次生
国際言語文化学部 国際日本文化学科1年次生 2名

キャッシュレス決済が急激に普及したことで、支払い方法の多様化がますます進んでいる。支払い方法によって利便性が高まるというメリットもあるが、一方でさまざまなリスクやデメリットも発生する。そこで、中国人と日本人を対象に、支払い方法の多様性が消費者の消費行動にどのような影響を与えるかについて調査し、国による違いを明らかにしたいと考えた。



京都ノートルダム女子大学

教育支援部 学事課

〒606-0847京都市左京区下鴨南野々神町1番地
TEL: 075-706-3661 FAX: 075-706-3790
E-mail: gakuji@notredame.ac.jp
<http://www.notredame.ac.jp>